

hiki2yard

yard による数値計算システムの構築

#1 はじめに ruby で program を開発する際には,gem として配布することが最終目標となる. gem の生成は雛形を使えば自動で行うことができるが, 配布するには, 開発者向けの文書も作成しなければいけない. 文書作成のために yard があるが, 多くの対象者にむけての文書を作る必要があるため hiki2yard ではこれらの文書作成を容易にするコマンドの提供を目的とする.

#2 Yard yard とは ruby のドキュメントを生成をする gem. フォーマットを用意することにより rdoc に比べ, 誰でも同じようなドキュメントを生成できるので可読性を高めることができる. 今は rdoc が主流になっているが, よりメンテナンスが容易になるという点で次世代を期待されている.

#3 目的 ruby の gem directory は, すべての開発者がはじめてそのコードを見たときにも迷わないように, 決まった構造になっている. 特に,doc ディレクトリーは rubygems での document のデフォルトディレクトリーとして, wiki ディレクトリーは github のデフォルトディレクトリーとして用意されている. このディレクトリーに対して, それぞれの rubygems,github システムが operation を行い, 初めて利用するユーザーあるいは開発者に対して必要な情報を提供するように作られている. hiki2yard で目指すものも同じ. 決まった構造にすることで,hiki フォーマットで書かれた文書から, yard,wiki 文書を作る環境を自動構築することを目的としている.

#4 手法西谷研究室の先輩方が研究を進められていた,hiki から卒業論文等に使用するための tex 形式にする hiki2latex を参考に進めていく. gem の Rakefile を書き換えることで, 誰も見やすく使いやすいコマンドを提供する.

#5 参考文献 <http://morizyun.github.io/blog/yard-rails-ruby-gem-document-html/>
2016/08/ アクセス